



平成 24 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 協同飼料株式会社
代表者名 代表取締役社長 林 泰 正
(コード番号 2052 東証第一部)
問合せ先 執行役員経理部長 大 友 彰
(TEL. 045-461-5711)

(訂正) 「平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕 (連結) 」
の一部訂正について

当社は、本日付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、
過年度の決算を訂正することといたしました。

このため、平成 23 年 8 月 5 日に発表いたしました「平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日
本基準〕 (連結) 」の記載内容を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

訂正箇所が多数であるため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線____
を付して表示しております。



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 協同飼料株式会社

コード番号 2052 URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 泰正

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大友 彰 TEL 045-461-5711

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	32,190	14.2	389	24.2	376	60.1	46	40.3
23年3月期第1四半期	28,187	△4.6	313	△57.5	235	△60.1	33	△84.6

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △24百万円(-%) 23年3月期第1四半期 △78百万円(-%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	0	47	-	-
23年3月期第1四半期	0	34	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	45,726		12,497			27.3
23年3月期	44,438		12,780			28.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 12,493百万円 23年3月期 12,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
23年3月期	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	-	-	-	3.00	3.00	3.00
24年3月期(予想)	-	-	-	3.00	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
第2四半期(累計)	63,000	12.1	500	△15.4	400	△10.4	100	△38.1	円	銭
通期	131,000	11.8	1,700	△9.2	1,400	△5.7	600	-	1.01	6.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期第1四半期	103,995,636株	23年3月期	103,995,636株
② 期末自己株式数	24年3月期第1四半期	5,199,377株	23年3月期	5,199,377株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期第1四半期	98,796,259株	23年3月期第1四半期	99,447,655株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日)のわが国経済は、東日本大震災により工場の稼働停止や電力制限など多大な被害を受けたものの、一部で復興の兆しが見られます。

飼料畜産業界におきましては、大震災により東北地方の各飼料工場が被災し、他の地域から配合飼料の供給を行っておりましたが徐々に復旧が進んでいます。また、東北地方の畜産生産者においては、大震災により直接の被害を受けたほか、その後に発生した原発事故による放射能汚染の影響が懸念されています。

配合飼料の主原料であるとうもろこしは6月にシカゴ相場において史上最高値を更新するなど原料相場は総じて高水準となり、海上運賃も堅調に推移しました。

畜産物につきましては、豚肉相場は前年同期に比べ堅調に推移しております。また、鶏卵相場は下降気味に推移し、前年同期並みとなっております。

こうした環境にあって当社グループの売上高は配合飼料価格の値上げなどにより321億9千万円(前年同期比14.2%増)となりました。営業利益は飼料原料価格の高騰がありましたが、コスト削減努力などにより3億8千9百万円(前年同期比24.2%増)となり、経常利益は3億7千6百万円(前年同期比60.1%増)となりました。また、東日本大震災の災害による損失として特別損失に2億4千3百万円を計上したことから、当四半期純利益は4千6百万円(前年同期比40.3%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと次のとおりであります。

飼料事業

飼料事業では、配合飼料の販売数量は肉牛用飼料の数量が増加したことなどから前年同期を上回りました。売上高は、配合飼料価格を本年1月と4月に値上げしたことなどから前年同期比12.8%増の216億9千7百万円となり、営業利益は5億4千4百万円(前年同期比5.0%増)となりました。

畜産物事業

畜産物事業では、売上高は連結子会社の増加及び畜産物相場の上昇などにより前年同期比17.1%増の104億9千2百万円となり、営業利益は9千6百万円(前年同期比179.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態を前期末と比べますと、連結子会社が1社増加したことなどにより受取手形及び売掛金、有形固定資産等が増加し、総資産は457億2千6百万円(前期末比2.9%増)となり、12億8千8百万円増加しました。

一方、支払手形及び買掛金等が増加し、負債合計は332億2千9百万円(前期末比5.0%増)となり、15億7千1百万円増加しました。

また、利益剰余金が減少したこと等により、純資産合計は124億9千7百万円(前期末比2.2%減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計処理の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	454	977
受取手形及び売掛金	18,995	19,463
商品及び製品	736	660
仕掛品	447	509
原材料及び貯蔵品	3,288	3,327
繰延税金資産	53	57
短期貸付金	427	293
その他	1,173	1,122
貸倒引当金	△35	△30
流動資産合計	25,540	26,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,107	2,414
機械装置及び運搬具（純額）	2,279	2,392
土地	3,247	3,683
建設仮勘定	474	508
その他（純額）	217	307
有形固定資産合計	8,325	9,306
無形固定資産		
のれん	225	458
その他	319	481
無形固定資産合計	544	939
投資その他の資産		
投資有価証券	3,237	3,083
長期貸付金	2,699	1,912
長期未収入金	4,113	4,076
破産更生債権等	22	19
繰延税金資産	2,318	2,371
その他	620	617
貸倒引当金	△2,983	△2,980
投資その他の資産合計	10,027	9,100
固定資産合計	18,897	19,346
資産合計	44,438	45,726

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,365	12,345
短期借入金	7,834	8,208
未払法人税等	99	108
賞与引当金	305	483
その他	3,349	3,747
流動負債合計	22,954	24,893
固定負債		
長期借入金	6,862	6,453
退職給付引当金	1,249	1,272
役員退職慰労引当金	202	116
資産除去債務	273	273
その他	115	219
固定負債合計	8,704	8,335
負債合計	31,658	33,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,199	5,199
資本剰余金	4,947	4,947
利益剰余金	3,361	3,149
自己株式	△523	△523
株主資本合計	12,985	12,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△210	△283
繰延ヘッジ損益	2	4
その他の包括利益累計額合計	△208	△279
少数株主持分	3	3
純資産合計	12,780	12,497
負債純資産合計	44,438	45,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	28,187	32,190
売上原価	25,344	29,142
売上総利益	2,843	3,047
販売費及び一般管理費	2,529	2,658
営業利益	313	389
営業外収益		
受取利息及び配当金	43	40
その他	77	59
営業外収益合計	121	99
営業外費用		
支払利息	68	65
持分法による投資損失	88	0
その他	42	46
営業外費用合計	199	112
経常利益	235	376
特別利益		
固定資産処分益	30	—
特別利益合計	30	—
特別損失		
災害による損失	—	243
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	240	—
特別損失合計	240	243
税金等調整前四半期純利益	25	133
法人税等	△8	86
少数株主損益調整前四半期純利益	33	46
少数株主利益	0	△0
四半期純利益	33	46

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33	46
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	△76
繰延ヘッジ損益	△69	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	3
その他の包括利益合計	△111	△70
四半期包括利益	△78	△24
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△78	△23
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、配合飼料の製造・販売並びに畜産物の購入・生産・加工・販売を主な内容とし、これに関連する事業を展開していることから、「飼料事業」、「畜産物事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な製品・商品は、「飼料事業」は鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等であり、「畜産物事業」は鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等であります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	飼料事業	畜産物事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,227	8,959	28,187	—	28,187
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	—	14	△14	—
計	19,241	8,959	28,201	△14	28,187
セグメント利益	518	34	552	△239	313

(注) 1 セグメント利益(営業利益)の調整額△239百万円には、セグメント間の取引消去4百万円及び配賦不能営業費用△243百万円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、連結財務諸表提出会社の本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	飼料事業	畜産物事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,697	10,492	32,190	—	32,190
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	—	21	△21	—
計	21,719	10,492	32,212	△21	32,190
セグメント利益	544	96	640	△251	389

(注) 1 セグメント利益(営業利益)の調整額△251百万円には、セグメント間の取引消去4百万円及び配賦不能営業費用△255百万円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、連結財務諸表提出会社の本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

[訂正後]



平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 8 月 5 日

上場会社名 協同飼料株式会社

上場取引所 東

コード番号 2052 URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 泰正

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大友 彰 TEL 045-461-5711

四半期報告書提出予定日 平成 23 年 8 月 11 日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 1 四半期	32,190	14.2	389	24.2	376	60.1	46	40.3
23 年 3 月期第 1 四半期	28,187	△4.6	313	△57.5	235	△60.1	33	△84.6

(注) 包括利益 24 年 3 月期第 1 四半期 △24 百万円 (-%) 23 年 3 月期第 1 四半期 △78 百万円 (-%)

	1 株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24 年 3 月期第 1 四半期	0	47	-	-
23 年 3 月期第 1 四半期	0	34	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 1 四半期	45,134		11,904			26.4
23 年 3 月期	43,846		12,187			27.8

(参考) 自己資本 24 年 3 月期第 1 四半期 11,901 百万円 23 年 3 月期 12,184 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	年間	
23 年 3 月期	円	銭	円	銭	円	銭
24 年 3 月期	-	-	-	3.00	3.00	
24 年 3 月期 (予想)	-	-	-	3.00	3.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成 24 年 3 月期の連結業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
第 2 四半期 (累計)	63,000	12.1	500	△15.4	400	△10.4	100	△38.1	円	銭
通 期	131,000	11.8	1,700	△9.2	1,400	△5.7	600	-	1.01	6.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期第1四半期	103,995,636株	23年3月期	103,995,636株
② 期末自己株式数	24年3月期第1四半期	5,199,377株	23年3月期	5,199,377株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期第1四半期	98,796,259株	23年3月期第1四半期	99,447,655株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日)のわが国経済は、東日本大震災により工場の稼働停止や電力制限など多大な被害を受けたものの、一部で復興の兆しが見られます。

飼料畜産業界におきましては、大震災により東北地方の各飼料工場が被災し、他の地域から配合飼料の供給を行っておりましたが徐々に復旧が進んでいます。また、東北地方の畜産生産者においては、大震災により直接の被害を受けたほか、その後に発生した原発事故による放射能汚染の影響が懸念されています。

配合飼料の主原料であるとうもろこしは6月にシカゴ相場において史上最高値を更新するなど原料相場は総じて高水準となり、海上運賃も堅調に推移しました。

畜産物につきましては、豚肉相場は前年同期に比べ堅調に推移しております。また、鶏卵相場は下降気味に推移し、前年同期並みとなっております。

こうした環境にあって当社グループの売上高は配合飼料価格の値上げなどにより321億9千万円(前年同期比14.2%増)となりました。営業利益は飼料原料価格の高騰がありましたが、コスト削減努力などにより3億8千9百万円(前年同期比24.2%増)となり、経常利益は3億7千6百万円(前年同期比60.1%増)となりました。また、東日本大震災の災害による損失として特別損失に2億4千3百万円を計上したことから、当四半期純利益は4千6百万円(前年同期比40.3%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと次のとおりであります。

飼料事業

飼料事業では、配合飼料の販売数量は肉牛用飼料の数量が増加したことなどから前年同期を上回りました。売上高は、配合飼料価格を本年1月と4月に値上げしたことなどから前年同期比12.8%増の216億9千7百万円となり、営業利益は5億4千4百万円(前年同期比5.0%増)となりました。

畜産物事業

畜産物事業では、売上高は連結子会社の増加及び畜産物相場の上昇などにより前年同期比17.1%増の104億9千2百万円となり、営業利益は9千6百万円(前年同期比179.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態を前期末と比べますと、連結子会社が1社増加したことなどにより受取手形及び売掛金、有形固定資産等が増加し、総資産は451億3千4百万円(前期末比2.9%増)となり、12億8千8百万円増加しました。

一方、支払手形及び買掛金等が増加し、負債合計は332億2千9百万円(前期末比5.0%増)となり、15億7千1百万円増加しました。

また、利益剰余金が減少したこと等により、純資産合計は119億4百万円(前期末比2.3%減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計処理の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	454	977
受取手形及び売掛金	18,995	19,463
商品及び製品	736	660
仕掛品	447	509
原材料及び貯蔵品	3,288	3,327
繰延税金資産	53	57
短期貸付金	427	293
その他	1,173	1,122
貸倒引当金	△35	△30
流動資産合計	25,540	26,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,107	2,414
機械装置及び運搬具(純額)	2,279	2,392
土地	3,247	3,683
建設仮勘定	474	508
その他(純額)	217	307
有形固定資産合計	8,325	9,306
無形固定資産		
のれん	225	458
その他	319	481
無形固定資産合計	544	939
投資その他の資産		
投資有価証券	3,237	3,083
長期貸付金	2,699	1,912
長期未収入金	4,113	4,076
破産更生債権等	22	19
繰延税金資産	2,729	2,783
その他	620	617
貸倒引当金	△3,987	△3,984
投資その他の資産合計	9,435	8,507
固定資産合計	18,305	18,754
資産合計	43,846	45,134

協同飼料(株)(2052) 平成24年3月期第1四半期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,365	12,345
短期借入金	7,834	8,208
未払法人税等	99	108
賞与引当金	305	483
その他	3,349	3,747
流動負債合計	22,954	24,893
固定負債		
長期借入金	6,862	6,453
退職給付引当金	1,249	1,272
役員退職慰労引当金	202	116
資産除去債務	273	273
その他	115	219
固定負債合計	8,704	8,335
負債合計	31,658	33,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,199	5,199
資本剰余金	4,947	4,947
利益剰余金	2,769	2,557
自己株式	△523	△523
株主資本合計	12,392	12,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△210	△283
繰延ヘッジ損益	2	4
その他の包括利益累計額合計	△208	△279
少数株主持分	3	3
純資産合計	12,187	11,904
負債純資産合計	43,846	45,134

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	28,187	32,190
売上原価	25,344	29,142
売上総利益	2,843	3,047
販売費及び一般管理費	2,529	2,658
営業利益	313	389
営業外収益		
受取利息及び配当金	43	40
その他	77	59
営業外収益合計	121	99
営業外費用		
支払利息	68	65
持分法による投資損失	88	0
その他	42	46
営業外費用合計	199	112
経常利益	235	376
特別利益		
固定資産処分益	30	—
特別利益合計	30	—
特別損失		
災害による損失	—	243
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	240	—
特別損失合計	240	243
税金等調整前四半期純利益	25	133
法人税等	△8	86
少数株主損益調整前四半期純利益	33	46
少数株主利益	0	△0
四半期純利益	33	46

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33	46
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	△76
繰延ヘッジ損益	△69	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	3
その他の包括利益合計	△111	△70
四半期包括利益	△78	△24
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△78	△23
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、配合飼料の製造・販売並びに畜産物の購入・生産・加工・販売を主な内容とし、これに関連する事業を展開していることから、「飼料事業」、「畜産物事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な製品・商品は、「飼料事業」は鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等であり、「畜産物事業」は鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等であります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	飼料事業	畜産物事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,227	8,959	28,187	—	28,187
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	—	14	△14	—
計	19,241	8,959	28,201	△14	28,187
セグメント利益	518	34	552	△239	313

(注) 1 セグメント利益(営業利益)の調整額△239百万円には、セグメント間の取引消去4百万円及び配賦不能営業費用△243百万円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、連結財務諸表提出会社の本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	飼料事業	畜産物事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,697	10,492	32,190	—	32,190
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	—	21	△21	—
計	21,719	10,492	32,212	△21	32,190
セグメント利益	544	96	640	△251	389

(注) 1 セグメント利益(営業利益)の調整額△251百万円には、セグメント間の取引消去4百万円及び配賦不能営業費用△255百万円が含まれております。配賦不能営業費用の主なものは、連結財務諸表提出会社の本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。